

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第159号（7.9.26） 王子公園再整備事業の一旦停止を求める陳情
陳 情 の 要 旨	1. 王子公園再整備事業を一旦停止すること。 2. 神戸市クレドの行動指針に則り市民との対話を行うこと。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市灘区 光 本 隆 司
送 付 委 員 会	建設防災委員会

2025年9月26日

神戸市議会議長 様

陳情者

住所 神戸市灘区

氏名 光本



「王子公園再整備計画事業の一旦停止を求める陳情」

〔陳情趣旨〕

2021.12.8 王子公園再整備基本計画（素案）が公表されて以降神戸市は「市民や議会の意見を踏まえた案の見直しを行い、2022.9 再整備方針（修正素案）を公表した上で、改めて市民の皆様のご意見を伺い、2022.12 再整備基本方針を策定しました」と2024.2.5 都市計画審議会の中で述べました。しかしこの言葉は正しくありません。

すべての意見は聴き置くだけだったからです。

修正、変更は「5つの基本目標」の中で、各項目に装飾的な形容詞を4か所追加したのみです。当初素案から修正する考えがないことが明白でした。

更に「市民、行政、有識者、を交えた公園の在り方検討会開催」要求は一切考えていません、「大学誘致は決定済み」と公言しました。

地元住民の生活環境が一変することも判りながら一切触れず、偏在した視点で大学誘致を目玉に着々と進めている行政の姿勢に啞然とする気持ちを超えて恐ろしさを感じています。地元住民は利害関係者の最重要主権者です。

2023.8.7 職員の志を示す行動指針「神戸クレド」が策定されました。行動指針の冒頭には「市民との対話を大切にし、神戸市で暮らす人、働く人、学ぶ人、集う人、そして未来の市民のことを、同じ目線で考えます」とあります。この志を今こそ遂行し、市民と同じ目線で対話をする為に事業進行の一旦停止を求めます。現在裁判2件が進行中です。市民が提訴している中、行政が何事もなく計画通り進める態度は対立を助長し解決を阻む行為と映るからです。

多数決決裁が唯一の民主的決裁である前提条件には市民との十分な意見交換が為されることが必須条件で有ることを御認識下さい。

〔陳情事項〕

- 1 王子公園再整備事業の一旦停止を求める。
- 2 「神戸クレド」の行動指針に則り市民との対話を求めます。